

令和5年度学校評価 自己評価表

愛媛県立新居浜西高等学校
全日制 学校番号5

教育方針	自ら人格を磨き、徳・知・体の調和のとれた、個性豊かで国際感覚にあふれ、我が国の発展に貢献することのできる、心身ともに健全な人間を育成する。	重点目標	未来を創造し、社会に貢献できる 人材の育成 — 自らを発信する力・他者と協働する力・自他を寛容する力 —
------	---	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学力の向上	家庭学習の充実と基礎的な知識や技能の定着	家庭学習時間 1年生3時間、2年生4時間、3年生5時間以上 [A:設定時間以上、 B:設定時間—0.5時間未満、 C:設定時間—0.5時間～1時間、 D:設定時間—1時間～1.5時間、 E:設定時間—1.5時間以上]	A	家庭学習時間（2月末現在） 1年生 3.73 時間 2年生 4.00 時間 3年生 5.00 時間	・目標数値をクリアしているものの、時間数は年々減少している。課題の提出等を徹底させて、学習時間を確保させる工夫が必要かと思われる。
		対外模試偏差値平均 1・2年生 58 以上 [A:58 以上、B:57 以上、C:56 以上、 D:55 以上、E:55 未満] 3年生 53 以上 [A:53 以上、B:52 以上、C:51 以上、 D:50 以上、E:50 未満]	C	1月進研模試結果 1年生 3教科総合偏差値 56.2 (昨年度比-0.4) 2年生 3教科総合偏差値 55.7 (昨年度比+0.4) 11月進研模試結果 3年生 5教科総合偏差値 52.1 (昨年度比+1.7)	・各教科において、3年間の展望を持った学力育成を行うとともに、各学年においても「進路指導基本方針」に基づき、統一した認識の下、進路指導を行う。
	授業の改善や学習指導力の向上	ICTの活用や評価等に関する研修会の充実 [A:5回以上、B:4回、C:3回、 D:2回、E:2回未満]	B	ICT活用授業改善推進事業に係る公開授業及び情報交換会（公民・理科）2回、教職員対象研修会2回（6月オンライン、11月講師招聘）を実施し、指導力向上に努めた。	・推進事業が終了した後も、現場のニーズに応じた研修を定期的に行い、引き続き指導力の向上に努める。
		研究授業や相互授業参観を通じた授業改善の推進 授業参観回数 [A:6回以上、B:5回、C:4回、 D:2回、E:2回未満]	A	授業参観（授業公開）2回 校内研究授業8回	・相互授業参観の充実のために、実施期間を弾力的にする。

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

可能性の追求	自己実現を目指す進路指導	国公立大学合格者の割合 55%以上 [A:55%以上、B:54%以上、 C:53%以上、D:52%以上、 E:52%未満]	B	国公立大学合格率(3月11日現在) 54.8%(138名/252名) ・総合型選抜22名、学校推薦型選 抜35名、一般選抜81名であり、今 後更に増加する見込みである。	・確かな学力の育成は もちろん、総合課と連携 を図りながら、「仰」にお ける課題研究の成果を 進学に結び付けていく。
		難関国立大学及び医学部医学科合格者 の割合5%以上 [A:5.0%以上、B:4.7%以上、 C:4.4%以上、D:4.1%以上、 E:4.1%未満]	A	難関国立大学及び医学部医学科合 格率(3月11日現在) 10.3%(26名/252名) ・難関大24名 (北海道2、名古屋2、京都1、 大阪7、神戸5、九州7) ・医学部医学科2名	・難関大学進学卒業生 との座談会等を活用し、 生徒の意識高揚を図る とともに、適性がある生 徒については、総合型・ 学校推薦型選抜からの 積極的な挑戦を促す。
		<u>生徒の進路実現につながる講演、講義、 行事等の充実</u> <u>生徒アンケート5「そう思う」以上</u> [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 86.5%。 ・例年実施の講演・講義や行事に加 え、オープンキャンパスア、 「プロフェッサー・ビ ジット」(朝日新聞社主催)の 実施により、進路意識の 高揚に努めた。	・生徒の期待に応えら れるように、8月実施の 「先輩と語る」のリニュー ーアルなど、これまでの 行事をバージョンアッ プする。
		進路面接年間4回以上 [A:4回以上、B:3回、C:2回、 D:1回、E:0回]	A	・各ホームルーム担任を中心に、 平均年間5回は進路面談を行 うなど、計画以上の取組が 実施できている。	・実施回数だけでなく、 内容にも留意しながら 対話を重ねることで、 生徒の進路目標実現につ なげる。
	読書活動の充実	年間累計貸出図書数1200冊以上 [A:1200冊以上、B:1100冊以上、 C:1000冊以上、D:900冊以上、 E:900冊未満]	E	年間累計貸出図書数686冊(2月末 現在)	・ホームルーム活動で 実施を依頼している「ビ ブリオバトル」に使用す る書籍を、図書室にある ものから選ばせる。
進路探究「仰」の充実	<u>小論文ガイダンス、ディベートクラスマ ッチ、マイブレイン読書等の充実</u> <u>生徒アンケート8「そう思う」以上</u> [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 80.5%	・「仰」の見直しにより、 マイブレイン読書は 「仰」から除外され、課 題研究センターの活動に 変更される。新年度の活 動の充実を図る。	

A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった

		進路ガイダンス、進路講演会、大学出張講義等による進路意識の高揚 生徒アンケート9「 <u>「そう思う」</u> 以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「 <u>「そう思う」</u> 」以上 87.1%	・内容等を再検討し、生徒の満足度を高められるよう努めたい。
豊かな人間性・たくましい心身の育成	部活動の充実と文武両道	部活動加入率 90%以上 [A:90%以上、B:85%以上、 C:80%以上、D:75%以上、 E:75%未満]	A	部活動加入率 90.2% ・昨年度の 85.5%を上回る加入率である。多くの生徒が、文武両道を目指し、懸命に取り組んでいると思われる。	・部活動を通して、自らを発信する力や、他者と協働する力、自他を寛容する力の育成に努め、より良い人間関係を形成させたい。 ・部活動改革により、部の統合や市内各校との連携、外部指導者の登用を推進し、より効率的な運用に努めたい。
		県総体 220 名以上 [A:220 名以上、B:200 名以上、 C:180 名以上、D:160 名以上、 E:160 名未満] 県高文祭 100 名以上 [A:100 名以上、B:95 名以上、 C:90 名以上、D:85 名以上、 E:85 名未満]	A	県総体出場 224 名 県高文祭出場 119 名 ・数値目標を達成した。コロナ禍が明け、限られた時間を有効に使い、それぞれの目標に向かい励んだものと思われる。	
	学校行事・生徒会活動・HR活動の充実	生徒主体の創意工夫のある学校行事の実施とHR活動の充実 「 <u>生徒アンケート 11～14「そう思う」</u> 」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「 <u>「そう思う」</u> 」以上 学校行事 96.4% 生徒会活動 90.6% HR活動 91.9% ・生徒が主体的に活動し、成果を上げている。	・創意工夫のある生徒主体の計画的な活動を、更に充実させる。
	人権意識の高揚	人権侵害やいじめの未然防止、早期発見、早期対応 生徒アンケート 15「 <u>「そう思う」</u> 」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「 <u>「そう思う」</u> 」以上 91.1% ・人権意識の高揚につながる人権・同和教育の充実やいじめ等を防ぐ教職員間の連携等により成果があった。	・生徒への発信を工夫して人権意識を高め、問題の未然防止や解決する力を育みたい。
	教育相談の充実	相談しやすい環境作りと早期の適切な支援 <u>生徒アンケート 16「そう思う」</u> 以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「 <u>「そう思う」</u> 」以上 85.5%	・S L Aによる教育相談の生徒に対する一層の周知を図る。 ・クラス担任、保健室との一層の連携を図る。

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

	生徒の健全育成	適切で公平な生活指導、気持ちの良い挨拶や端正な身だしなみなど健全な生徒の育成 生徒アンケート 18・19「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 89.3%	・女子の身だしなみについて改善を要する。髪形、スカートの丈、化粧などの指導を徹底する。
	安全教育の充実	交通安全教育の充実、交通事故の防止 交通事故件数 [A:15件未満、B:20件未満、 C:25件未満、D:30件未満、 E:30件以上]	E	交通事故件数 30件 (3月11日現在)	・昨年度と比べ、事故件数が増加した。登校時、できるだけ余裕を持って登校することを徹底していきたい。
		防災訓練の適切な実施と防災教育の推進 生徒アンケート 20「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 85.9%	・災害が身近に迫っているという意識を持ち、「自助」「共助」の重要性を周知する。また、危機管理マニュアルを全面改訂し、組織的な対応力を高めたい。
	環境整備の推進	清掃活動の充実、 管理場所の点検・整備 生徒アンケート 21「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 81.5%	・清掃活動も他の活動と同じく、大切な「学習の場」であることを理解する。今年度、清掃用具の修理や購入が多く、丁寧に扱うよう指導する。
開かれた学校づくり	ニーズに応じた情報提供	ホームページの充実 掲載数/開校日数 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	ホームページ掲載数 307件/開校日数 183日 [167.8%] (2月末現在) ・開校日に1件以上ホームページに掲載することができている。	・多くの教職員が記事を掲載する体制を作り、生徒の活動が保護者、地域の方々により詳しく伝わるようにする。
		各種便りの定期的な発行による積極的な情報発信 保護者アンケート 23「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	保護者アンケート「そう思う」以上 81.6%	・今後も継続して「くすの葉だより」を作成してきたい。ホームページに行事予定を掲載することを忘れることがあったので注意したい。

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

	社会総がかりで取り組む教育の推進	家庭、地域、同窓会との連携の強化 P T A総会参加者率 [A:45%以上、B:35%以上、 C:25%以上、D:15%以上、 E:15%未満]	C	P T A総会参加者率 27.6%	・来年度は総会の参加者が30%を超えるように保護者対象の講話などを企画し、呼び掛けをしていきたい。
業務改善・働き方改革	働き方改革の推進とやりがいのある職場づくり	超過勤務の多い教職員の減少 超過勤務時間 80 時間以上 [A:0%、B:10%未満、C:20%未満、 D:30%未満、E:30%以上]	D	超過勤務時間（2月末現在） 平均 54 時間 40 分←58 時 133 分 80 時間以上 13 名 (21.4%)←19 名 45 時間以上 24 名 (39.3%)←24 名 45 時間未満 24 名 (39.3%)←18 名 ・改善は見られたが、依然超過勤務は深刻な状況である。	・百問繚乱、マチコミ欠席連絡、勤務軽減簿の導入、テレワークの推進等を行ったが、超過勤務時間の減少には至っていない。 ・教職員のやる気だけに依存せず、業務の平準化、部活動改革の推進による顧問配置を見直し等を推進し、負担軽減を図りたい。
		働くことへの充実感・満足感 教職員アンケート 26「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	教職員アンケート「そう思う」以上 98.5% ・多くの教職員が充実感を持って勤務している。	

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった